

芸術科書道Ⅱ 授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和4年2月9日(水) 5限
- 2 実施場所 書道教室(南館3階)
- 3 H R 21HR
- 4 生徒観 第一希望の芸術科目を選択できていることから、習得技術の高低に関わらず、授業に意欲的に取り組む生徒が多い。最終課題として、仮名作品の創作を行うが、古典の名作に学び、その美の要素について考え、自らの作品制作に生かしてほしい。
- 5 単 元 仮名の美(小单元名)
- 6 本時の目標 ①散らし書きの古筆の美に関心を持ち、表現の技法を身につけようとする態度を育む。
②幅広い分野の知識・技能の習得と様々な体験活動により未来につながる新しい価値を創造する力を育成する。
- 7 本時の展開

| | 指 導 事 項 | 留 意 点 |
|--------------|---|---|
| 導 入 (5分) | 本時の目標と活動について説明を行う。 | 古典の名筆から学び、自己の創作の可能性を広げることを確認する。 |
| 展開1 (15分) | ○古典の名筆である「三色紙」について説明する。 ○「三色紙」より「寸松庵色紙」を鑑賞させる。 | 古典の名筆「寸松庵色紙」「継色紙」「升色紙」について、映像を用いて説明する。さらに、寸松庵色紙の散らし書きについて、例を挙げ解説する。 |
| 展開2 (22分) | ○「寸松庵色紙」の散らし書きを参考にして、創作を進めさせる。 | 古典に基づく作品創作の方法を理解させ、自己の創作に生かせるよう、机間巡視で支援を行う。 |
| まとめ (8分) | ○本時の振り返りを行う。 ○次時の学習について説明する。 ○用具・用材の適切な管理をするよう促す。 | 「創作ノート」記入により、自己評価・次時への課題を確認する。 |